

第4回 内部検討会議～アサヒビール(株)所有地(駅前土地)買取可否～ 議事要録

日時：平成23年5月20日(金)19:00～20:50

場所：コミュニティセンターやす 第1、第2研修室

出席者：(内部検討メンバー)

山仲市長、東郷政策調整部長、橋都市建設部長、山本環境経済部長、田中政策調整部次長、和田都市建設部次長、立入環境経済部次長、竹村財政課長、玉田都市計画課長、小嶋商工観光課長、吉川企画調整課長補佐、高橋財政課長補佐、服部都市計画課長補佐、事務局企画調整課

(ゲストオブザーバー)

滋賀県立大学 松岡教授、野洲市商工会 奥野会長、野洲学区自治連合会 山中会長、駅前自治会 大堀自治会長(欠席)

1. 市長あいさつ(概要)

内部検討会議としては最終の4回目となります。これまで市民懇談会の開催など、可能な限り多くの場で市民や議会のみなさんに情報を提供し、議論してきました。また、検討会議ではゲストオブザーバーの方やご参加いただいた市民の皆さんが、真剣に議論をいただいたことに厚くお礼を申し上げます。

市が買い取るとした場合、土地利用による収益が行政の受益ではなく、市民が利用することで得られる生活の豊かさや、自己の能力を高められる場を提供することが市民の受益につながると考えています。

従来は、高コスト型の施設整備をしていたと思われませんが、先般竣工した野洲中学校では当初計画の半額程度の経費で事業の効果を十分に出すことができました。この事業における費用対効果については、議員の方から一定の評価をいただいたところです。また、過去には効果の出ていない土地の購入等の起債もありますが、この負担も10年ほどで収まる見込みですから、財政運営は厳しい状況にあるものの、将来を見据えてアサヒビール所有地の買取可否の問題に取り組むべきだと考えています。

これから野洲市をどうしていくのか、市民の生活をどう豊かにしていくのかという観点から、参加された皆さまからもご意見をいただきたいと思います。

2. 事務局説明

<説明の要点>

土地利用計画(案)～買い取る場合～

・本格利用：市民活動拠点施設用地

事業着手の時期は財政状況を見極めて判断(平成28年度以降となる見込み)

・暫定利用：野洲駅南口駅前広場整備工事期間中は仮設駅前ロータリー(平成23年～平成25年)

南口駅前整備完了から本格利用までは、イベント広場および駐車場

<買い取らない場合：マンション開発の可能性が高く、教育施設などの受入体制が必要>

財政運営と財源確保

・財政運営：実質公債費比率を18.0%未満に抑えることを目標

買取は可能と判断

・財源確保：公共用地先行取得事業債

地域振興基金の活用

駐車場収入を固定資産税減収分の補填財源として検討

3. 意見交換(概要)

(内部検討メンバー)

- ・朝の通勤時間帯は駅前に交通が集中する実態を踏まえ、市民活動拠点施設整備を実現するとした場合、広域的な観点で交通体系の整備も併せて計画する必要がある。
- ・緑地については、一定の面積を確保するよう検討する。
- ・駅前周辺に位置する祇王井川の修景をうまく活かしながら、駅前地域の懸案事項である排水対策を県と連携しながら解決していかなければならない。
- ・買い取るとした場合、ここを仮設の駅前ロータリーとすることで南口駅前広場整備工事の効率化を図り、駅利用者の混乱を最小限に抑えられる。
- ・工事完了後の暫定利用はイベント広場・駐車場としているが、暫定利用の形態が買い取りの目的になり、後に混乱することとなるので、買い取り前に目的を明確にしておく必要がある。

(ゲストオブザーバー)

- ・具体的な計画は、市民の意見を取り入れることで、より効果的な利用方法が期待できる。
- ・暫定利用の提案については具体的で実現性が高いと思われる。
- ・買取は鑑定額が提示された後も、アサヒビールと交渉するなど市民が納得できるプロセスが必要。
- ・本格利用の提案は、柔軟な姿勢で市民が何を求めているのかを聞き取ること。
- ・駅前周辺の渋滞の原因は何か、何がボトルネックになっているのかを検証すること。
- ・駅周辺地域と連携を図り、地域住民の意見を聞いて検討すること。

(一般参加者の意見)

- ・買い取りに反対する。付加価値の高い駅前開発は民間活力にゆだねるべきで、行政は市民の安心、安全を基本とする行政サービスに集中するべき。
- ・若者が集まり、夢のある駅前整備を期待する。
- ・ゆとりのある空間、落ち着いたのある駅前になることを期待する。
- ・公共交通機関を中心に駅前を展開することが望ましい。
- ・周辺の街道も併せて整備すれば、観光などの効果も期待できる。
- ・これまでアサヒビールが開発しなかったが、市が買い取るとすれば市民の思いが反映できる駅前になるので、これを良いチャンスにしたい。

4. 会議まとめ

- ・これまでの意見・提案をまとめて6月の定例議会に報告する予定
- ・買い取りに反対する意見もあるが、これまでの多くの意見を集約すると、買い取りの方向で検討を進めることとする。
- ・買い取りの目的は市民活動拠点施設の用地とする。
- ・具体的な施設の機能・規模については、議会や市民の意見を取り入れながら検討する。
- ・本格利用の着手時期は、財政運営を見極めたうえで判断するが、それまでの間は暫定利用とする。

買取可とした場合のスケジュール

買取可否の回答期限
平成23年10月31日

作業項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
市民懇談会	● 4/24						買取の場合
内部検討会議		● 5/20					公有財産審議委員会
不動産鑑定業務	● 4月下旬	● 5月下旬					予算計上(9月)
都市基盤整備特別委員会			● 6/1 ● 6/10 (予定)				財産の取得議決(議会)
議会			● 6/1 ● 6/22				所有権移転登記
アサヒビール回答				● 7月上旬			完了(12月)